

長良川新能

能 「野守」 豊嶋三千春

狂言 「二人袴」 野村 萬齋

素謡／みなもと会
連調／桂会

ぎふを照らすは、
水とあかりの雅の技

〈とき〉 平成二十二年八月二十七日 金

〈開場〉 午後五時 〈開演〉 午後六時 入場無料

〈ところ〉 長良川特設舞台（岐阜グランドホテル前河原）

雨天または増水時には、岐阜市民会館（岐阜市美江寺町二六）にて開催

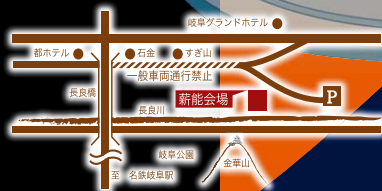
※急な天候の悪化により中止となる場合もありますので、開催情報を確認の上、ご来場下さい。

長良川新能開催情報ダイヤル ☎〇一八〇九三三五〇八

（平日のみ利用可）※通話料がかかります。

主催／長良川新能実行委員会 岐阜市
後援／岐阜県・岐阜県教育委員会

お問い合わせ先／岐阜市役所市民参画部男女共同参画文化課
☎〇五八二六五四一四一（内線六一七二）



野村 萬齋



豊嶋三千春

長良川

薪能

能「野守」

羽黒山の山伏が大峯への修行の途中、春日野(奈良)にやってきました。

そこには池があり、水面が鏡のように映るので『野守の鏡』と呼ばれていました。

しかし、真の『野守の鏡』とは、昼は人の姿で野を守る鬼の持つてゐる鏡のことで、すべての世界を映すことができるという不思議な鏡のことでした。

山伏は一度鏡を見てみたいと一心不乱に祈りを捧げると、やがて鏡を手にした鬼が現れ、東西南北の明王や極楽浄土、地獄の底までも映し、最後は地面を踏み割って地獄へ帰って行くのでした。



豊嶋三千春

昭和14年(1939年)人間国宝・豊嶋彌左衛門の長男として、京都に生まれる。
昭和20年 初舞台、昭和49年 芸術祭優秀賞受賞、昭和56年 重要無形文化財音楽保持者(総合)指定、平成7年 京都府文化賞功労賞受賞、平成18年度文化庁芸術祭演劇部門大賞受賞
普及活動など:カナダ・アメリカ・イタリア(ローマ法王庁)・スペイン・オーストラリア・イスラエル等での海外公演も多数
金剛流学生能楽連盟を指導・若者の育成に貢献
金剛流金剛会相談役・日本能楽会会員・能楽協会会員・京都能楽会会員



野村萬齋

昭和41年(1966年)生。野村万作の長男。祖父故六世野村万蔵及び父に師事。重要無形文化財総合指定者。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。
国内外で狂言の普及を目指す一方、新しい演劇活動にも意欲的に取り組む。芸術祭新人賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊国屋演劇賞等を受賞。
世田谷パブリックシアター芸術監督。著書に「萬齋でござる」「MANSAI◎解体新書」(朝日新聞社)「狂言三人三様野村萬齋の巻」(岩波書店)など。

狂言「二人袴」

今日は花婿の婿入りの日。一人で行くのは恥ずかしいといので、父親が舅の家の門前まで付き添い、長袴を着けて送り出します。

婿が舅と初対面の挨拶を済ませたところで、太郎冠者が門前に父親が来ていることに気付きます。舅は父親を家の中へ招こうとしますが、袴は一つしかありません。慌てた婿は自ら父親を迎えに行くことにして、外で袴をはき替え、今度は父親が挨拶に行きます。

何度かごまかしているうちに舅から二人一緒に同席と言われ、困った親子は…

〈とき〉平成二十二年 八月二十七日 金

●主催 長良川薪能実行委員会・岐阜市
●後援 岐阜県・岐阜県教育委員会

交通のご案内

- 長良川特設舞台
JR岐阜駅バス停 ⑫番 又は 名鉄岐阜バス停 ④番
「N33 三輪積迦」又は「N32 岩井山かさ神」行き「長良川温泉(岐阜グランドホテル前)」下車
- 岐阜市民会館(雨天または増水時の会場)
岐阜バス 「市民会館前」「市民会館・裁判所前」下車すぐ

- ビデオ及び写真撮影は、禁止させていただきます。
- 上演中の飲食はご遠慮下さい。
- 座布団をご持参いただくと便利です。

